



漂着生物を探しに浜を歩いてみよう

海辺の自然観察といえば夏をイメージするかもしれません。漂着物探しは一年中楽しめます。特に日本海側では、冬がおすすめ。さまざまな漂着物のうち、今回は漂着する生きものの観察について紹介します。



なかにしひろき
中西弘樹

長崎大学教育学部教授・
漂着物学会会長

東日本大震災による津波は、城壁のような堤防を破壊し、集落までも飲み込んでしまいました。今更ながら自然の力に驚くとともに、人もほかの動物と同じく自然の中でしか生きられないことを思い知らされました。津波で飲み込まれ、がれきとなつた漂流物は、北太平洋海流によって東へと運ばれています。海流は巨大なベルトコンベアのごとく、あらゆる浮遊物を運んでいるのです。日本列島沿いにも大きな海流があります。世界の二大暖流のひとつである黒潮は、熱帯の海域からさまざまなものを持ち、その一部は日本の海岸に打ち上げられます。熱帯や亜熱帯の海域に生息し、浮遊生活をする生物は、黒潮によって運ばれます。黒潮が枝分かれした対馬暖流により、ギンカクラゲなどのように北海まで運ばれるものもあります。

遠くから運ばれてきた漂着生物を探すコツは、漂着物の中に、海底火山の噴出物と考えられる軽石、外國製のペットボトルや使い捨てライターなど、外洋から流れてきたものがあるかどうかを見ます。砂浜は砂がどんな海岸に流れ着やすいかも観察してみてください。砂浜は砂が

強風翌日の砂浜が観察日和

遠くから運ばれてきた漂着生物を

多くの漂着物の中には、海底火山の噴出物と考えられる軽石、外國製のペットボトルや使い捨てライターなど、外洋から流れてきたものがあるかどうかを見ます。砂浜は砂が

東日本大震災による津波は、城壁のような堤防を破壊し、集落までも飲み込んでしまいました。今更ながら自然の力に驚くとともに、人もほかの動物と同じく自然の中でしか生きられないことを思い知らされました。津波で飲み込まれ、がれきとなつた漂流物は、北太平洋海流によって東へと運ばれています。海流は巨大なベルトコンベアのごとく、あらゆる浮遊物を運んでいるのです。日本列島沿いにも大きな海流があります。世界の二大暖流のひとつである黒潮は、熱帯の海域からさまざまなものを持ち、その一部は日本の海岸に打ち上げられます。熱帯や亜熱帯の海域に生息し、浮遊生活をする生物は、黒潮によって運ばれます。黒潮が枝分かれした対馬暖流により、ギンカクラゲなどのように北海まで運ばれるものもあります。

漂着生物は年間を通して見られます。日本海側では冬の季節風が吹く時に、太平洋側は台風の後などに多く見られます。日本海側ではハリセンボンのように、冬に海水温が低下すると死亡して季節風に吹き寄せられて漂着する亜熱帯性の魚類などもあります。また、しばしば集団で

堆積しやすいのと同じく、漂着物も打ち上げられやすい海岸です。一方、磯などは侵食される海岸で漂着物が少なめです。沿岸流が変わりやすくないので、ぜひ探してみましょう。

漂着生物は年間を通して見られます。日本海側では冬の季節風が吹く時に、太平洋側は台風の後などに多く見られます。日本海側ではハリセンボンのように、冬に海水温が低下すると死亡して季節風に吹き寄せられて漂着する亜熱帯性の魚類などもあります。また、しばしば集団で

熱帯植物の果実や種子も流れています。これらの植物は海流で生育地が拡がる、海流散布植物です。果実や種子はいつまでも浮き続けられるように、纖維質やコルク質の果皮で覆われていて、種皮が硬く、中が空室となっています。そのような構造を調べるのも面白いでしょう。



海流と風と漂着物の関係

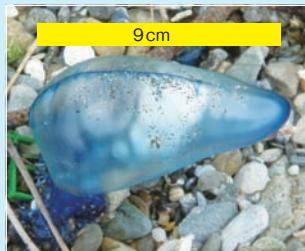
見つけてみたい漂着生物

大きさの目安

もっと小さいものが見つかることがあるが、大きめのものに合わせて記載。

青もの3兄弟

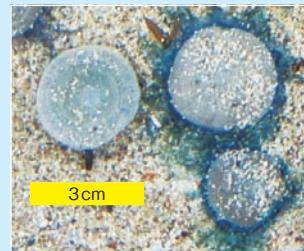
クラゲの仲間。この3種はいずれも暖かい海で繁殖していて、しばしば多量に漂着していることがある。体色は、青味がかかった色。海の中では保護色となっていると考えられる。触手に毒があるので、漂着したばかりのものには触らない。



カツオノエボシ



カツオノカンムリ



ギンカクラゲ

大きいもので長径5cmほどの楕円形の本体の上に三角体と呼ばれる薄い半透明の帆をたてた形をしている。この帆に風を受けて水面をウインドサーフィンのように移動するものと思われる。

直径3cmほどの円盤状で、周囲に青紫色の糸状の感触体が取り巻いている。多量に漂着し、波打ち際に青色に見えることがある。漂着して時間が経つと、円盤状の本体だけになる。

アワを吹く浮遊貝

ルリガイ

漂着したばかりだと、ピンクがかった泡を出している。泡(浮囊)にぶらさがって浮遊生活をしている。しばしば多量に漂着。



浮囊(ふのう)

Q 黒潮がらの贈り物。贈り主は誰?

贈り物と贈り主を線で結ぼう。答えは43ページをご覧ください。



A

6cm



B

10cm



C

6cm

殻を持つタコ・イカの仲間 (頭足類)

アオイガイ



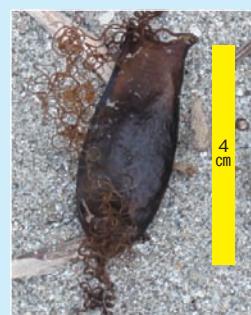
20cm

薄いプラスチックのような殻を持ち、大きさは2cmから20cmぐらいの大きなものまで、さまざま。打ち上がったものはたいていどこか壊れている。生きている時は、殻を自分で修理しているようで、殻をよく見ると修理した跡があるものがある。

人魚の財布

トラザメの卵殻

中に1個の卵が入っており「人魚の財布」と呼ばれている。漂着したものは多くがすでに孵化しており、空(殻?)の財布。



4 cm

自然を守って60年 日本自然保護協会 (NACS-J) 会員募集中!

NACS-Jについてのお問い合わせは TEL: 03-3553-4101 Eメール: nature@nacsj.or.jp

このページは、筆者の方に教育用のコピー配布をご了解いただいております（商用利用不可）。カラーページは、NACS-Jウェブサイトの<http://www.nacsj.or.jp/katsudo/kansatsu/>からPDFファイルがダウンロードできます。自然観察会などでご活用ください。